

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

本研究について	<p>本研究は、静岡県国民健康保険団体連合会が市町国民健康保険および後期高齢者保険加入者の方の健診受診結果、医療レセプト、介護保険審査データを突合して、匿名化処理をした上で静岡県立総合病院に提供した資料を用いて行います。</p> <p>研究対象者に対して、利用目的を含む本研究についての情報を静岡県立総合病院・静岡県国民健康保険団体連合会・静岡県のホームページ上に公開します。</p>
研究課題名	静岡県市町国民健康保険および後期高齢者保険加入者のデータベースによる医学的エビデンスの創出のための解析研究 —静岡県の健診データおよびレセプトデータを利用した投薬内容、医療費、疾病重症化リスクに関する観察研究—
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	森 潔
研究期間	2019年6月10日から2024年3月
対象者	2012年度以降の静岡県市町国民健康保険および後期高齢者保険加入者の方
当該研究の意義・目的	<p>高齢化社会が急速に進行するなかで、糖尿病・肥満・高血圧などの生活習慣病が基盤となって起こってくる心臓病、脳卒中、腎不全・透析、認知症、ねたきりなどの病態が健康長寿を脅かし、医療費を押し上げています。生活習慣病の発病後には薬物療法が行われていますが、禁煙・食事療法・運動療法あるいは医療機関受診が十分にできない患者さんのなかには、急速に寝たきりや透析状態になってしまう方があり、本人・家族・社会への負担となる恐れもあります。生活習慣を改善することは容易ではなく、現代医学の重要な未解決課題となっています。</p> <p>本研究では以下のようなテーマについて健診データおよびレセプトデータを解析し、疾患発症予防あるいは医療費抑制のための方策を提案し、静岡県民の健康長寿を促進することを目標としています。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医療費の高い疾患や病態の発症を予測する項目の調査・ 急性腎障害、慢性腎臓病、透析導入、心不全、癌、治療目的入院、死亡などの発症を予測する項目の調査・ レニン・アンジオテンシン系降圧剤、利尿剤、非ステロイド性消炎鎮痛剤、ビタミンDなど、汎用されるが腎毒性を有している薬物の使用状況の把握、それらが腎障害のリスクとなるかの調査

<p>方法および研究で 利用する試料・情報 について</p>	<p>静岡県国民健康保険団体連合会からハードディスクに保存して提供された 2012 年度以降の静岡州市町国民健康保険および後期高齢者保険加入者の匿名化された健診結果、医療レセプトデータ、介護保険審査データの突合データを用いて、以下の研究機関において解析を行います。なお、データは研究対象者個人を直接特定できる情報を取り除いた状態で以下の研究機関に提供され、共有されます。</p> <p>【研究機関】</p> <p>①静岡県立総合病院 リサーチサポートセンター (責任者：小谷仁人)</p> <p>②東京大学 大学院医学研究科 医療品質評価学講座 (責任者：宮田裕章)</p> <p>③慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室 (責任者：宮田裕章)</p>
<p>個人情報の開示に 係る手続き</p>	<p>個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。</p>
<p>資料の閲覧につい て</p>	<p>あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。</p>
<p>間合せ先</p>	<p>◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 腎臓研究科 森 潔 代表 054-247-6111</p>